

令和3年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

5年

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○読むことの到達度に差がある。 (到達度27%～97%) ○大勢の前で自分の考えを発表することに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをノートなどにまとめる機会を多く設定する。 ○意見交換の機会を多く設定し、話す経験をたくさんする。 ○学習形態を工夫し、話す機会を多くするように心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の内容を根拠にして、自分の考えを書くことができる児童が増えた。 (到達度35%～97%) ○グループで、意見交換などの活動がスムーズにできるようになった。 ○大人数の前で話すことについては、自信や適切な言葉づかいなど課題がある。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○資料から社会的事象を読み取る経験が少なく、資料を読み取る力に差がある。 (到達度23%～98%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎回の授業で資料を活用する機会を設け、資料を読み取る意欲を養うとともに、読み取る力を付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の題名や数値、変化に着目することで、多くの情報を読み取ることができるようになってきている。 (到達度27%～98%)
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察に意欲的に取り組む姿勢は見られるが、実験の条件整理、実験結果の考察などの科学的思考・判断・表現の到達度に差がある(25%～98%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察を通して、科学的な概念や言葉を用いて学習を進め、結果から考えられることを科学的視点で表現させていく。 ○ノートやワークシートに実験の流れを整理する際に、科学的な言葉を使ってまとめることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実験の条件整理、結果と考察の確認をくり返し行うことで、科学的な言葉で考察をまとめることができる児童が増えた。 (到達度29%～98%)

<p>体育</p>	<p>○運動が好きな児童が多いが、運動ができる、できないに価値をおいている児童が多い。</p> <p>○友達と教え合いながら学び合おうとする姿勢をもつことが十分にできていない。</p>	<p>○「する」「知る」「見る」「支える」など様々な視点から運動に親しむことができるように指導をしていく。</p> <p>○友達と関わりながら学習することを価値付け、協働的に学ぶ姿勢をもたせる。</p> <p>○授業の中で、ポイントを理解する場面、友達の動きを見てアドバイスする場面などを明確にしていく。</p> <p>○チームで話し合う活動や友達のよい学びを評価する活動を設定していく。</p>	<p>○友達との比較ではなく、自分が成長しているかどうかを考えることで、前向きに運動に取り組む児童が増え、達成感を感じることができた。</p> <p>○友達の動きを見たり、アドバイスをしたり、運動をする以外の楽しみ方に気付く児童が増えた。</p>
<p>学 習 の 時 間 総 合 的 な</p>	<p>○自分が興味・関心をもっている事柄から、目的意識をもって課題を設定し、調べていこうとするのが難しい。</p>	<p>○学習の流れを明確に示すことで、自ら課題を設定して、調べて、情報を整理し、発信する力を身につけさせる。</p> <p>○様々な情報発信の方法の良さを伝え、効果的な手段を選択して、自ら情報発信ができるようにする。</p>	<p>○調べ学習の流れを理解して、課題設定から、情報発信までできる児童が増えた。</p>